

令和7年度広島県スフィアハンドブック研修実施要領

R7.5 県立広島病院
災害特別支援センター

1 目的

近年、災害は毎年のように発生し、広島県においても、8.20土砂災害や平成30年7月豪雨等で被災を経験しました。また、未来に発生が危惧されている南海トラフ地震では広島県でも多くの被害が想定されています。

発災前の準備として、研修を通じ、医療・保健・福祉・行政等参加者の顔の見える関係構築を目指し、人道支援及び緊急支援の国際基準である、スフィアスタンダードの掲げる理念について学び、支援者の質の向上を図り、被災者の尊厳を守る「傷つけない支援」ができることを目指します。

2 研修概要

- (1) 日 時 令和7年7月10日（木）～7月11日（金） ※ 当研修は2日間コースです。
1日目 9:15～18:00（予定） 2日目 9:00～17:00（予定）
※ 初日の受付は8:50から開始します。
- (2) 場 所 広島県医師会館 301 会議室
（〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号）
- (3) 対象者 医療や保健衛生、介護、福祉に携わる方、災害医療コーディネーター、社会福祉協議会、県、市町職員など避難所の開設・運営や災害支援に関わる方（※ 実際の支援活動の有無・知識等は不問です。）
- (4) 定 員 最大20名（最小12名）
- (5) 講 師

岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科 看護科学分野 教授	原田 奈穂子 氏
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局	千島 佳也子 氏
岡山大学 学術研究院医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 特任准教授	香田 将英 氏

(6) 内 容

スフィア基準には、避難所、要支援者の方たち、トイレのことなど、様々な分野ごとに、支援を必要とする方々が、安心・安全な生活を送るために必要な最低基準が書かれており、内閣府の避難所運営ガイドラインでもスフィア基準について参考にすべき資料と明記されています。平時の防災計画から、緊急・復旧対応まで、広く活用ができる基準でグループワークを中心としたアクティブラーニングと言われる学習方法を用いた研修です。

〈主な研修項目〉

スフィアとは？	必須基準とは？
チームビルディング	技術的な章とは？
我慢させない支援とは？	実際の災害で起きたシナリオを用いたGW

各項目についてしっかりと時間をかけて理解し、グループで共有し、実践に活かすことができます。

* 当研修は、支援の質とアカウンタビリティ (<https://igan.info/quality/>) に関するトレーナー養成研修を修了したトレーナーが行う研修です。

3 その他

- (1) 受講費用は無料です。
- (2) 当研修は2日間コースです。1日のみの受講はお断りいたします。(※ 見学は不可とします。)
- (3) 当研修はアクティブラーニングです。固定されたプログラムはありません。
- (4) 全プログラムを履修された方に対してのみ、研修修了書を発行します。
- (5) 応募多数の場合は、事務局において調整させていただきます。
- (6) 災害等の発生などにより、急遽開催を中止する場合があります。
- (7) 施設敷地内に駐車場はありますが、当方で割引処理は一切ありません。
- (8) 昼食は各自準備してください。会場で飲食可能です。(昼休憩は1時間程度確保予定。)